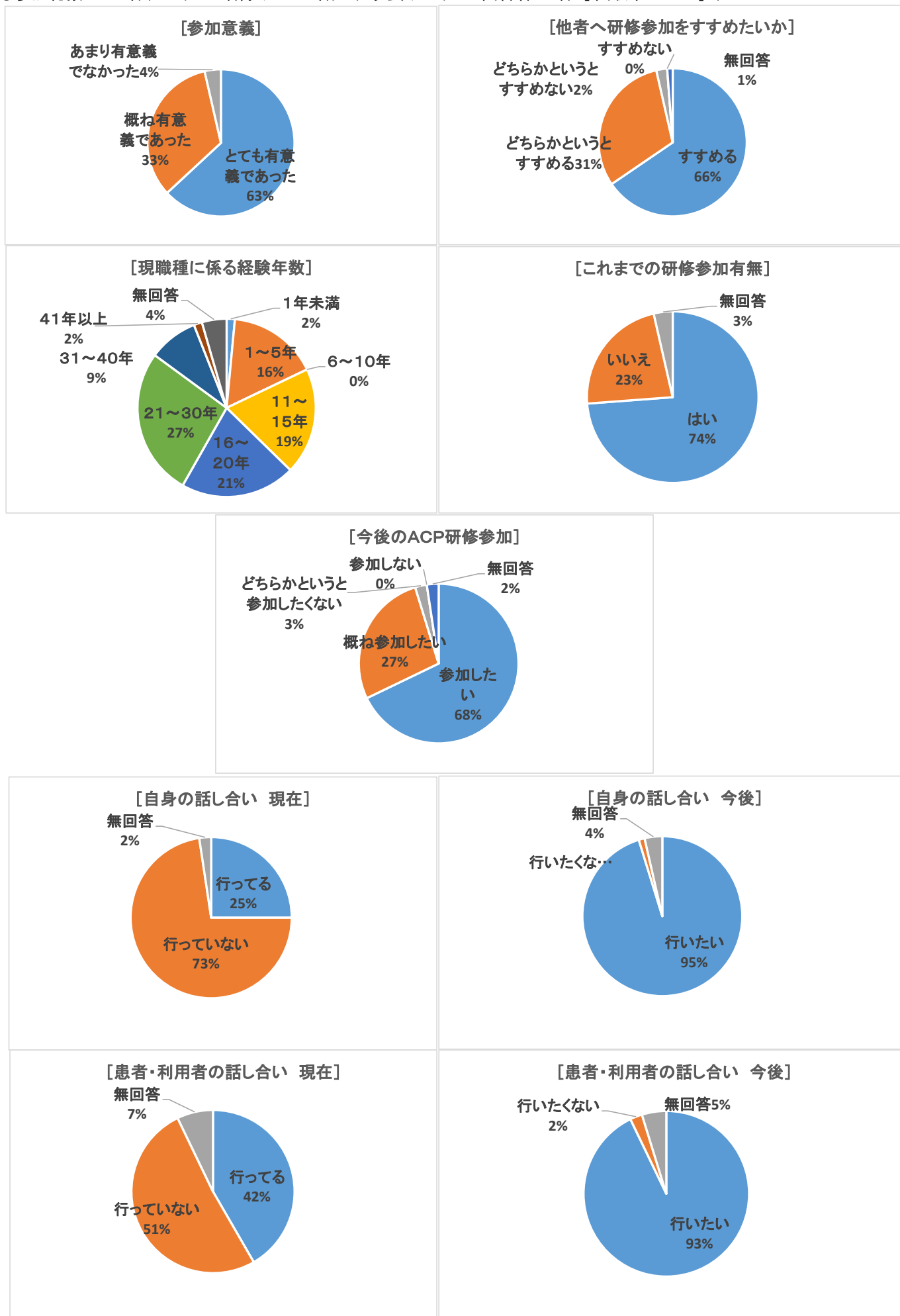


平成30年度 病院と在宅との多職種連携研修会 アンケート結果

平成 31年 1月 15日(火)

◎参加総数:107名(センター2名除くと105名) (うち、アンケート回答者84名 [回収率:81%])



〈記述ご意見〉

Q1.アドバンス・ケア・プランニングについて

【行っている、行いたい】

- ・日常の会話の中で、じっくり話し合える機会に、行いたい。
 - ・年を重ねてきて大切なことだと考えるため、機会をもちたい。
 - ・多職種連携のコミュニケーションとして大切なことだと考える。
 - ・自分については、もう少し年齢がいったからだと思うが、担当患者・療養者については、担当した場合に大切なことと思う。
 - ・カンファレンスの際に、タイミングを見計らって行っていければと思う。
 - ・夫や娘に意志を既に伝えてあり、交通事故などに備え移植カードも持っている。
 - ・在宅医療導入の際に、本人家族に尋ねていきたい。
 - ・毎月訪問の機会があるので、本人様のお気持ちは元気なうちに伺っておきたい。
 - ・家族とは食事の時など家族が揃っている時間など、常に話しあっていきたいと感じた。
 - ・自分のことは、ザックリだが「延命処置はしない、臓器提供はしたい」ことを普段の会話のなかで話しをしている。
 - ・家族とは夫の叔父が亡くなったのをきっかけに、夫の両親との4人で話し合った。納骨方法まで話が具体的に展開した。
 - ・お盆、正月、風邪ひいた時だとか、普段からつぶやいている。
 - ・仕事上、絶対必要で重要な事柄である。
 - ・デリケートな問題で話題に出すタイミングがつかみにくい。
 - ・どのようなタイミングでどのように話題に持ち出すかとてもむずかしいと思いますが、これから行っていく必要のあること。
 - ・訪問看護で関わっている患者さんに、雑談の中で意志や思いを聞くようにしている。
 - ・思いが表現された時は、そのことをさらに伺うようにしている。
- (行うタイミングとして考える時期)
元気なうち常日頃から、初回アセスメント面接時、関係ができてから、月々のモニタリング、状態変化に合わせて、本人の気持ちが「今後のこと」に向けた時、退院直後、保険の話の際、看取りカンファレンス、ゆっくり時間がもてる時、初診～、場合によっては信頼関係を作れてから

Q1.アドバンス・ケア・プランニングについて

【ご自身に関わる患者さんへのACP実施「行いたくない」】

- ・時間がない

Q5. その他、ご意見・ご感想

- ・大変楽しくいろいろなことを考えることができ、有意な交流機会となった。
- ・GWの目的がわかりにくかった。
- ・同業者少数で少し残念でしたが、常日頃に活用したいと思う。
- ・グループ研修で顔の見える関係ができよかった。
- ・昨年も参加したが、昨年よりも勉強になった。
- ・もさバナゲームをスタッフや利用者とも行ってみたい。
- ・医療従事者以外の一般市民の方々にやっていただけるといいのではないかなと思う。
- ・事例を勉強したい。
- ・様々な職種の意見を聞くことができ勉強になった。
- ・ゲーム形式でたのしく学べたが、8人グループでは時間が短かった。
- ・改めて自分が何を大切に思っているか分かった。家族とも行ってみたい。
- ・もさバナカード作成大変だったと思うが、すばらしいカードだと感じる。他の場でもさらに活用いただければと思う。
- ・経験豊かなみなさんの話や培われている価値観は、とても勉強になった。
- ・他院、他施設の関係者様とお顔を合わせる機会を作って頂き大変よかった。
- ・親はカードが拾えないといつもいっていたので、高齢者ではカードを用いて難しいのかもしれないと感じた。
- ・多職種とのコミュニケーションの機会は大切と感じる。有意義な時間であった。